山の原点はここに…。編集する

2007年06月21日22:41 友人の友人まて公開

5 view







《写真 1》

雲に隠れた、谷川岳山頂。 (西黒尾根の森林限界を越えた場所より。) でも、山頂以外はほんとに青空だった。 下から吹き上げてくる風は強いけど、気持ちいい。

《写真 2》

山頂付近に近づいた途端、一面ガス、ガス、ガス。 真っ白な山頂でした...。 (ガスに見え隠れする遠くの山だって、迫力あるもんねー。) でも山頂付近で1時間近くねばったら、晴れてきた~!!

《写真3》

谷川山塊。(山頂より、西側を眺める。万太郎山など)ちょっとだけ晴れだした、不思議な空の色。 今度はあちらを狙いませう!! と思うと同時に、 この穏やかな山並みを見ながら、昔がよぎった...。

*_*_*_*_*

6月(と9月)は、天気のいいときに、山に行くしかない!! というわけで、事前に計画だけは立てておき、 出発日を保留にしていたんだけど、 梅雨入りしたはずなのに、なぜだか晴れそうな週末...。 こりゃ行くしかないでしょう!! と決めたのが前日なわけで...。

はい、たにがわ~!! (6/14(土))

谷川岳は、11年前、山の会に入部して初めて登った山。 雲の上の世界を知った、おれにとっては特別な山。 (今回は11年ぶりにトライ。)

*_*_*_*_*

谷川岳の入口といえば、やっぱり土合駅。 降り立った地下ホームはひんやり寒く、 ここから地上の改札まで、486段の階段が待ち受けている...。

(土合駅をレポートした、おもしろ HP を発見。) http://www.geocities.jp/tsubasa131/travel13.htm

※ちなみに、土合駅は無人駅でした~。むふふ、らっきー♪

長丁場の西黒尾根。登山口で通りすがりのおっちゃんが、 「魔の西黒尾根が始まる…」とつぶやいていた。 (⇒岩壁で有名な谷川は、稜線までのあらゆるルートが 急斜面なのです…。)

まぁとりあえず、天気のいいうちに登り終えたいよな、 と意気込んで登り始めてみると...

西黒尾根。実は、かなり面白かった!!

森林限界を越えると、360 度見渡せる山々と高山植物。 さらに山頂までは、岩場あり、断続的な鎖場あり、 ガレ場(大小さまざまな岩のかけら地帯)あり、雪渓あり...。

あまりに気持ちのいい空と、登りがいのあるルートに、 すたこらさっさと歩けてしまい、登山口から 2 時間 5 分で 山頂に到着!! (標準コースタイムは 4 時間。どうした自分…!?) (でも、もちろんこれは、荷物が軽かったからだけどね。)

1 年生のとき、よくここを登ってこれたものだなぁ、と思う。 でもあのときは夢中で、振り返れば楽しかった思い出ばかり。 (ヒルに血を吸われたこと意外は…。)

ちなみに、当時の感想文を読んでみると、

「初めは足元しか見ていなかったけど、ふと気がつけば、 麓を見下ろしている自分に気づき、そこは一面が大自然。 なぜだか笑いがこみ上げてくる。

.....フッフッフ、ここが自分のいたかった場所さ!!」

なんて書き残しているけど、それは今でも同じ、かな。

*_*_*_*_*_*_*

そして山頂で、あらためて、

今まで一緒に山に登ってきた人たちのことを考えた。 朝から晩まで、共に旅をし、「生活」してきた山仲間。 楽しかったことも、辛かったことも、たくさんあった。 だからこそ、いろんな経験を共に味わった仲間には 気が許せてしまうのか、甘えてしまうのか、 自分の感情を素直にぶつけてしまうことが多々あったなぁ。 (よく言えば、本音トーク。悪く言えば、わがまま野郎。)

それでも、今日まで多くの山仲間に囲まれてこれたのも事実。 みんなありがとう&これからもよろしく!!

*_*_*_*_*

- 8:30 土合駅地下ホーム(583m)
- 8:36 土合駅改札口 出発準備
- 8:50 土合駅改札口 発
- 9:15-20 西黒尾根登山口 発
- 10:15-20 小休憩(ギンリュウソウ(銀竜草)発見!!)
- 10:35 ラクダの背 通過
- 11:25 谷川岳(トマの耳) 到着
- 11:25-12:35 山頂付近でのんびり(トマの耳~オキの耳~肩の小屋)
- 12:35 肩の小屋 発
- 13:20 分岐地点 通過
- 13:45 天神平(ロープウェイ)

(→下山は早っ!! ロープウェイ使わずに下山できたかも!? まぁ、次の日のバドに備えてね、なーんて。)